

鎌倉支援学校校歌

作詞作曲 梅野 千加
詩補作 中村千栄子
編曲 大野てる穂

みどりゆたかーに もえあがーる せき
はるかなのぞーみ そのむねーに まこ

やのさと の わーか くさは ここ
とのみちを いーく なかま ちい

ろとからーだ すこやかに とも
さなあゆーみ たくましく あす

にてをとり のびようよ (1.2) わ
をみつめて すすもうよ

れらのかまくらし えんがっ こう

- | | | | |
|--|--|---|---|
| <p>1 緑豊かに
関谷の郷の
心と体
ともに手を取り
われらの鎌倉支援学校</p> | <p>萌えあがる
若草は
すこやかに
伸びようよ</p> | <p>2 はるかな望み
誠の道を
小さな歩み
明日（あす）を見つめて
われらの鎌倉支援学校</p> | <p>その胸に
行く仲間
たくましく
進もうよ</p> |
|--|--|---|---|



シンボルマークのデザイン構成について

このシンボルマークの中心は未来に羽ばたく子供であります。大きく手を広げて空を見上げた子供は、生命に内在する偉大な可能性を顕わしたものです。そしてこの子供の両サイドの空間の形態が双葉になっております。これは子供を温かく愛情こめて育む教育者を表し、子供の姿が養護学校のインシヤルYになっていることと重層して、養護学校の使命を象徴したものであります。中心の円形は太陽であり、また子供の頭であります。健康に、すこやかに自然のリズムによって成長していく生命の実在を表したものであります。なお、このシンボルマークは12ヶの円形パターンの集合によって成り立っています。これは多くの人々の愛と勇気と献身によって、鎌倉養護学校の生徒が自己の創造的生命を開花していく力強い姿をシンボライズしたものであります。

S55.2 制作者 一色 宏

※令和5年4月 校名変更により歌詞とメロディの変更をしました